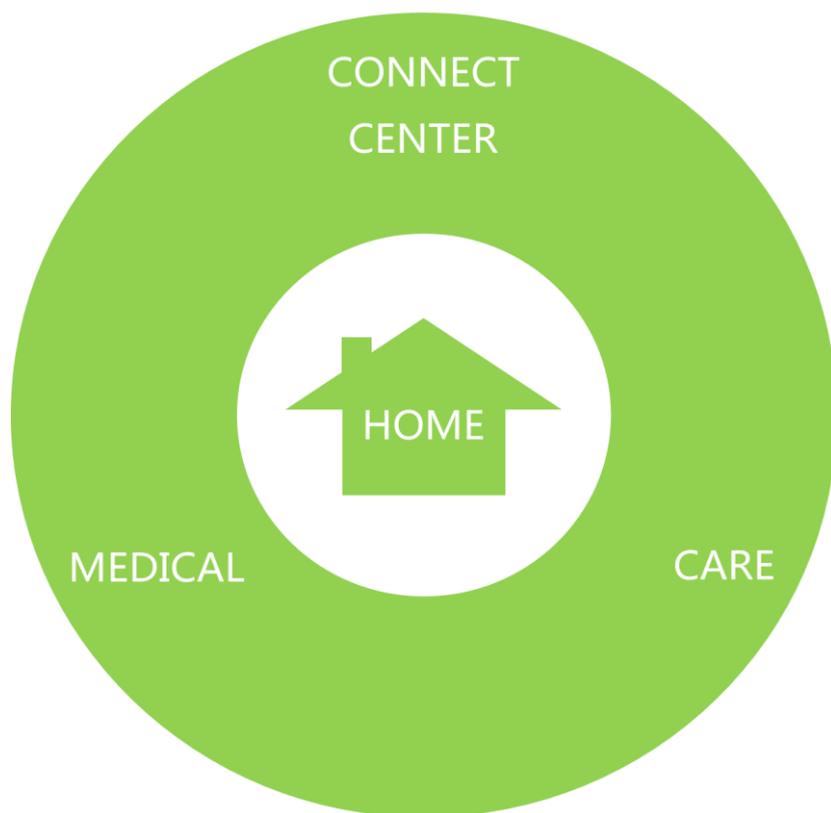


令和5年度 西東京市における 在宅医療・介護連携推進事業等 実施状況報告書



令和6年5月22日

西東京市 健康福祉部 高齢者支援課

目次

1	地域包括ケアシステム推進協議会	1
(1)	市民との協働啓発部会	2
(2)	連携のしくみづくり部会	2
(3)	病院・在宅連携部会	3
(4)	看取り支援部会	3
(5)	認知症支援部会	4
2	在宅療養連携支援センター「にしのわ」	5
(1)	活動実績	5
(2)	相談について	6
3	在宅療養後方支援病床確保事業	9
(1)	利用実績	9
4	訪問診療連絡会講演会	11
5	市民向け講演会	12
6	多職種研修	13

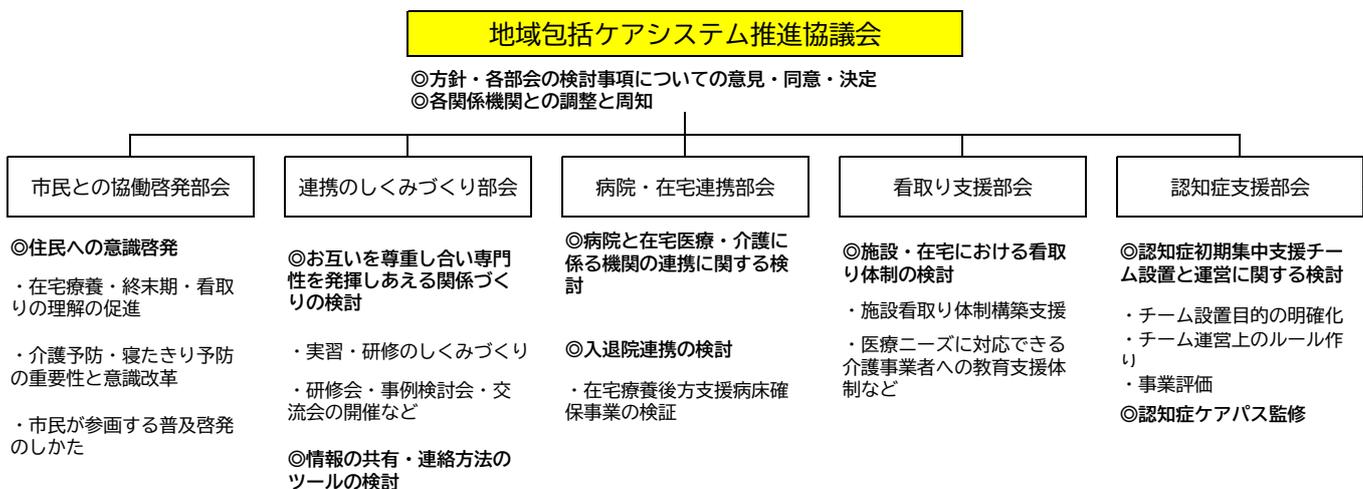
1 地域包括ケアシステム推進協議会

市内各団体の代表等が参加する会議であり、令和5年度は、次のとおり計2回の会議を開催した。

	日付	場所	議題
第1回	令和5年 7月28日	西東京市役所 イングビル 第3・4会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度在宅医療・介護連携推進事業等実施報告について ・令和4年度在宅医療利用者に関する調査結果について ・令和4年度にしのみ相談ケース要因の分析について ・令和4年度在宅医療・介護連携推進事業について ・令和5年度在宅医療・介護連携推進事業について ・フレイル予防事業・介護予防事業について
第2回	令和6年 2月9日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度上半期在宅医療・介護連携推進事業等実施報告について ・西東京市地域包括ケアシステムの現状について ・にしのみからの報告について

また、個別具体的な内容を検討する場として、5つの部会を設置している。(図1)

図1 地域包括ケアシステム推進協議会組織図(令和6年3月31日時点)



それぞれの部会の議題、会議の開催状況等は次のとおり。

(1) 市民との協働啓発部会

この部会の主な議題は、在宅療養を始めとする地域包括ケアシステムに関して市民・専門職へ啓発することである。

また、5つの部会の中で、唯一市民が部会員として参加している部会である。

令和5年度前半では、人生を振り返りながら人生の最終段階を話し合えるツールとして人生ノートについて、専門職によるACPのツールとしての普及を図るとともに、市民向けの人生会議の啓発方法の検討を行った。

後半では前半に引き続きACPの普及を図るとともに、市民向けのイベントも開催した。

3月には主治医研修会にて人生会議・人生ノートの説明を行った。

	日付	場所	議題
第1回	令和5年 6月30日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について
作業 部会	令和5年 7月26日	西東京市役所 田無第二庁舎1階	■人生ノートの活用について ・専門職への普及について
第2回	令和5年 9月29日	西東京市役所 イングビル 第3会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について
作業 部会	令和5年 10月27日	西東京市役所 田無第二庁舎1階	■人生ノートの活用について ・専門職への普及について
第3回	令和5年 12月15日	西東京市役所 田無第2庁舎 5階会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について
作業 部会	令和6年 1月26日	西東京市役所 田無第二庁舎1階	■人生ノートの活用について ・専門職への普及について
第4回	令和6年 3月1日	西東京市役所 田無第2庁舎 5階会議室	■人生ノートの活用について ・人生会議の啓発について

(2) 連携のしくみづくり部会

この部会の主な議題は、地域の多職種連携を推進することである。

令和5年度は、「第6回西東京市多職種研修」を開催した。

今後も多職種研修だけではなく、病院・在宅研修について検討・実施する予定である。

	日付	場所	議題
第1回	令和5年 10月4日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・これまで、そしてこれからの連携のしくみづくり部会について ・情報の共有・連絡方法のツールの検討について
第2回	令和6年 1月31日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室3	・第6回多職種研修について

(3) 病院・在宅連携部会

この部会の主な議題は、病院と在宅の連携に関することである。

令和5年度は、令和3年度に作成した市内5病院における入退院フロー図を基に、市内ケアマネジャー向けに西東京市入退院連携ガイドライン活用の研修を実施した。市内5病院では病院ごとに普及啓発の取り組み中である。

今後も、西東京市入退院連携ガイドラインの普及啓発につとめながら、内容の見直しを図っていく。

	日付	場所	議題
第1回	令和5年 6月9日	西東京市役所 田無第二庁舎 5階会議室	・西東京市版ガイドラインの周知について ・後方支援病床確保事業について（報告）
	令和5年 8月29・30日	防災・保谷保健福祉 総合センター 6階講座室Ⅱ	・ケアマネジャー・地域包括支援センター向け 西東京市版ガイドライン活用研修会
第2回	令和5年 11月10日	西東京市役所 田無第二庁舎 5階会議室	・西東京市版ガイドラインの周知について ・後方支援病床確保事業について（報告）
第3回	令和6年 2月21日	西東京市役所 田無第二庁舎 5階会議室	・西東京市版ガイドラインの周知について ・後方支援病床確保事業について（報告）

(4) 看取り支援部会

この部会の主な議題は、市民が望む場所で安心して最期を迎えられる体制づくりに関することである。

令和5年度には、前年度実施した調査結果及び各施設ヒアリング結果に基づき、施設職員向け看取り研修の実施等を検討し、グループホーム分科会にて、全2回の研修を実施した。今後も、入所施設における看取りの体制づくりについて取り組みを進める。

	日付	場所	議題
第1回	令和5年 7月24日	西東京市役所 田無第二庁舎 5階会議室	・特別養護老人ホームヒアリング結果について ・特別養護老人ホーム施設長会の意見聴取結果について ・グループホーム分科会の意見聴取結果及び研修の検討について
第2回	令和5年 10月12日	西東京市役所 田無第二庁舎 5階会議室	・グループホーム看取り研修について ・特別養護老人ホーム課題検討および今後の取り組みについて

(5) 認知症支援部会

この部会の主な議題は、認知症の支援に関することである。

令和5年度は、新たな体制で取り組んできた認知症施策の状況について、報告・意見交換を行った。また、認知症ガイドブックの活用状況と内容についての見直し、認知症本人の声を集めてまとめた冊子の作成について検討した。

	日付	場所	議題
第1回	令和5年 12月12日	西東京市役所 田無第二庁舎 4階会議室	・令和5年度認知症施策の取組みについて
第2回	令和6年 3月15日	西東京市役所 田無第二庁舎 3階会議室	・西東京市認知症ガイドブック(ケアパス)について ・認知症キャンペーンについて

2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」

(1) 活動実績

にしのわの活動件数は合計255件である。(図表2)

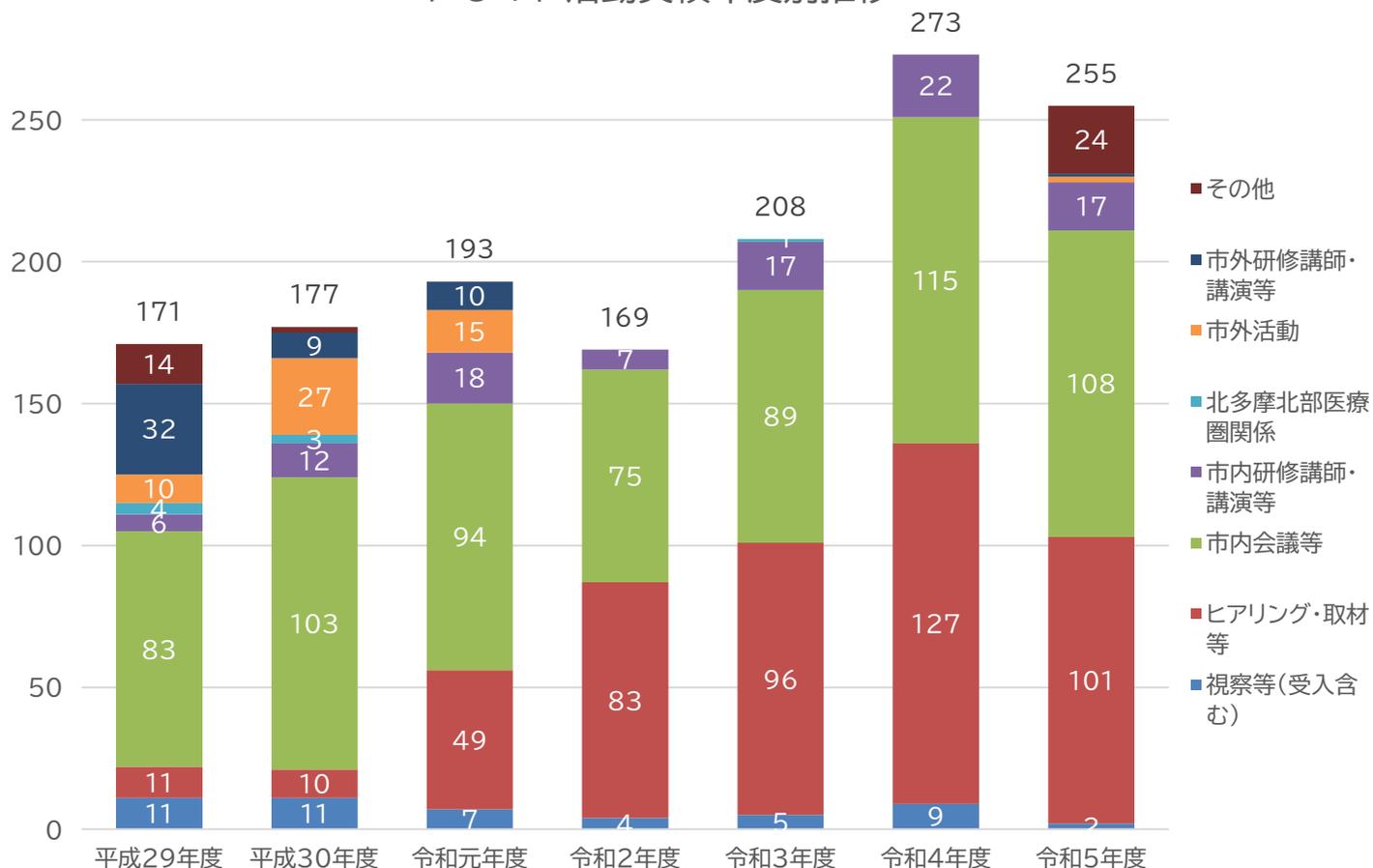
なお、内訳として市内会議等が最も多く、次にヒアリング・取材等が多くなっている。

図表2 在宅療養連携支援センター「にしのわ」活動実績

分類	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和 4 年度	令和5年度
視察等(受入含む)	11	11	7	4	5	9	2
ヒアリング・取材等	11	10	49	83	96	127	101
市内会議等	83	103	94	75	89	115	108
市内研修講師・講演等	6	12	18	7	17	22	17
北多摩北部医療圏関係	4	3	0	0	1	0	0
市外活動	10	27	15	0	0	0	2
市外研修講師・講演等	32	9	10	0	0	0	1
その他	14	2	0	0	0	0	24
合計	171	177	193	169	208	273	255

活動件数(件)

にしのわ活動実績年度別推移



(2) 相談について

にしのわへの相談について、内容、相談者（にしのわに相談した機関）、連携先（にしのわがつかない機関）別の実績は次のとおり。

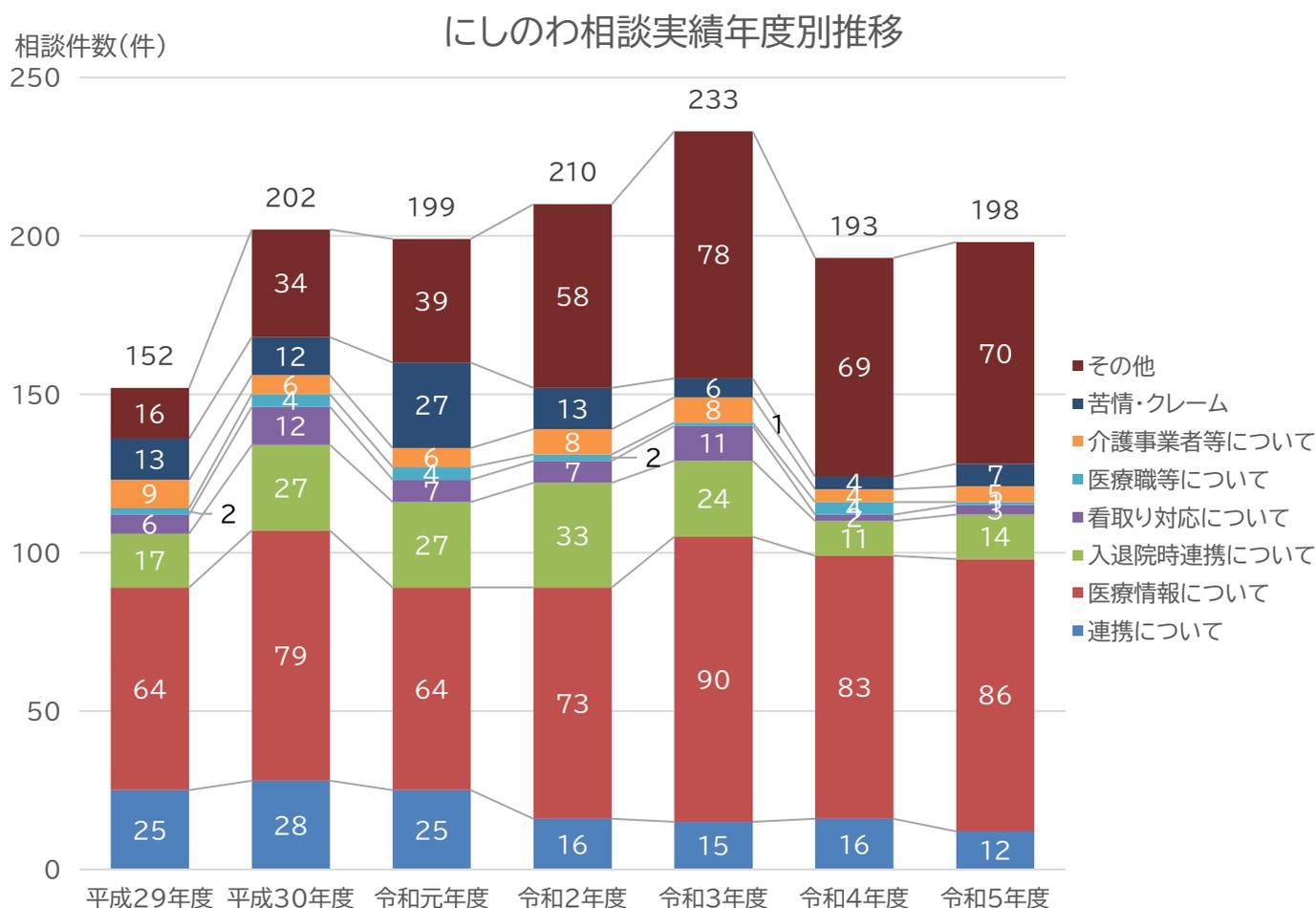
ア 相談内容別

にしのわの相談内容の延べ件数は合計198件である。（図表3）

なお、相談意図を詳しく確認する過程で、相談内容が複数の項目にわたっている場合は重複して集計している。また、内訳として医療情報の問い合わせが最も多く、次に入退院時連携に関する相談、連携に関する相談が多くなっている。

図表3 在宅療養連携支援センター「にしのわ」相談内容

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
連携について	25	28	25	16	15	16	12
医療情報について	64	79	64	73	90	83	86
入退院時連携について	17	27	27	33	24	11	14
看取り対応について	6	12	7	7	11	2	3
医療職等について	2	4	4	2	1	4	1
介護事業者等について	9	6	6	8	8	4	5
苦情・クレーム	13	12	27	13	6	4	7
その他	16	34	39	58	78	69	70
合計	152	202	199	210	233	193	198



イ 相談者

にしのが相談を受けた関係機関は合計156件である。(図表4)

また、内訳としてケアマネジャーからの問い合わせが最も多く、次に地域包括支援センターが多くなっている。

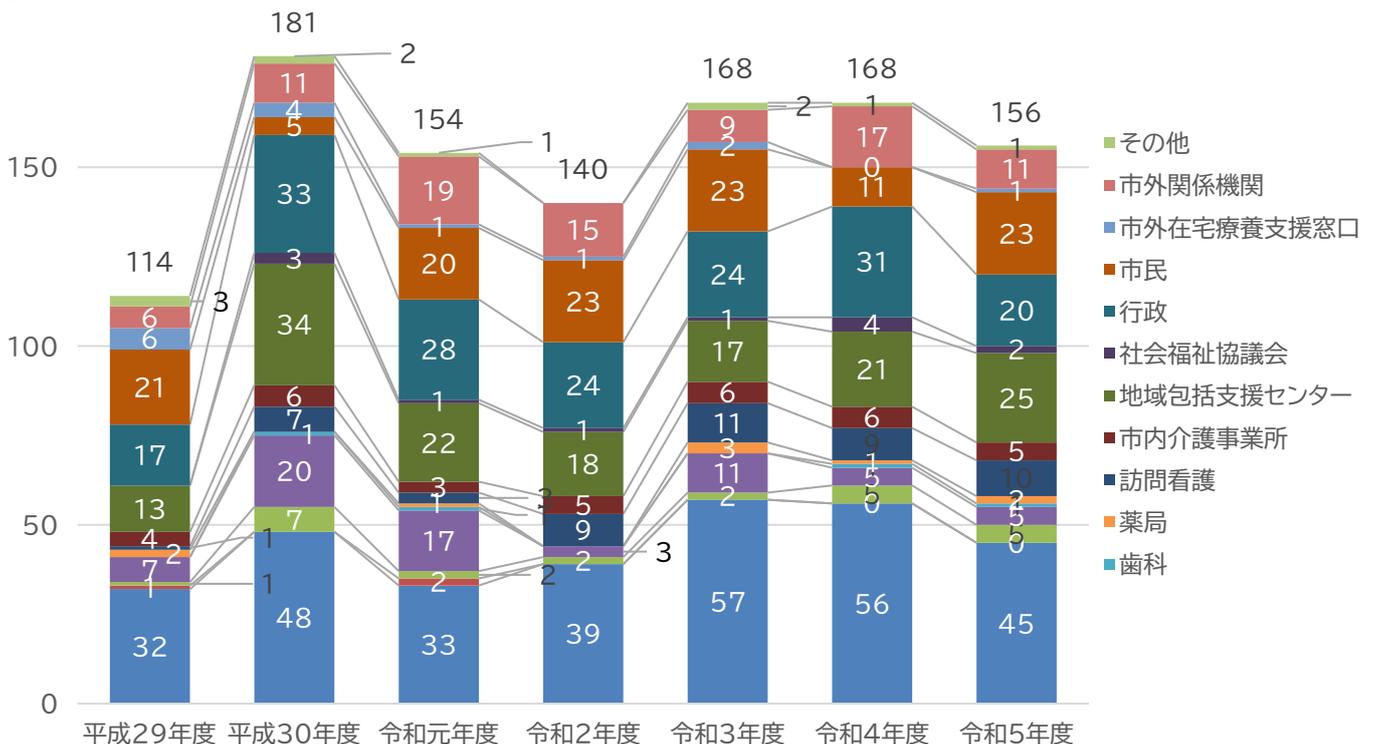
図表4 在宅療養連携支援センター「にしのが」相談者

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	32	48	33	39	57	56	45
三師会事務局	1	0	2	0	0	0	0
診療所	1	7	2	2	2	5	5
病院	7	20	17	3	11	5	5
歯科	0	1	1	0	0	1	1
薬局	2	0	1	0	3	1	2
訪問看護	1	7	3	9	11	9	10
市内介護事業所	4	6	3	5	6	6	5
地域包括支援センター	13	34	22	18	17	21	25
社会福祉協議会	0	3	1	1	1	4	2
行政	17	33	28	24	24	31	20
市民	21	5	20	23	23	11	23
市外在宅療養支援窓口	6	4	1	1	2	0	1
市外関係機関	6	11	19	15	9	17	11
その他	3	2	1	0	2	1	1
合計	114	181	154	140	168	168	156

相談者数(人)

200

にしのが相談者年度別推移



ウ 連携先

にしのわが関係機関につないだ件数は合計92件である。(図表5)

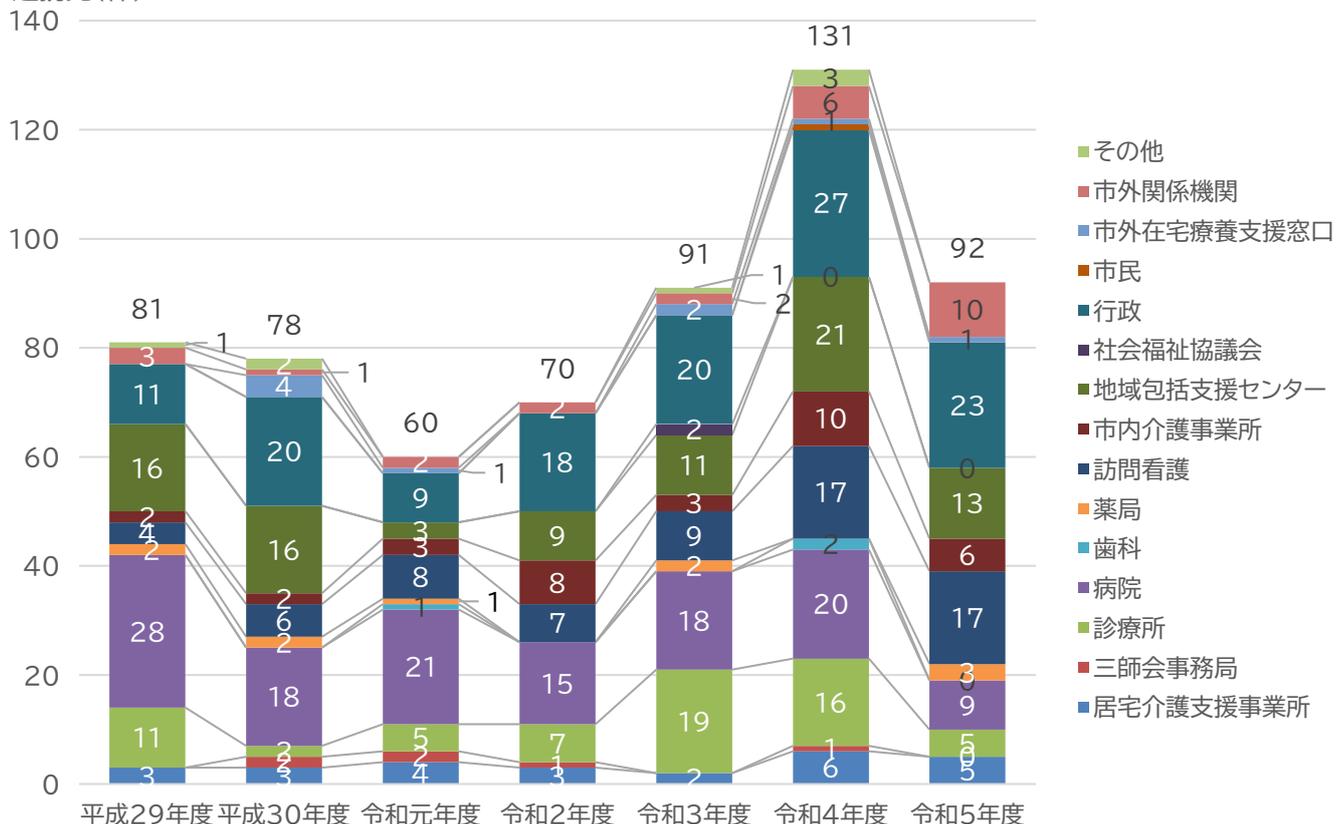
なお、相談意図を詳しく確認する過程で、連携先として複数の機関につなげた場合は重複して集計している。また、内訳として行政が最も多く、次に訪問看護が多くなっている。

図表5 在宅療養連携支援センター「にしのわ」連携先

分類	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護支援事業所(ケアマネ)	3	3	4	3	2	6	5
三師会事務局	0	2	2	1	0	1	0
診療所	11	2	5	7	19	16	5
病院	28	18	21	15	18	20	9
歯科	0	0	1	0	0	2	0
薬局	2	2	1	0	2	0	3
訪問看護	4	6	8	7	9	17	17
市内介護事業所	2	2	3	8	3	10	6
地域包括支援センター	16	16	3	9	11	21	13
社会福祉協議会	0	0	0	0	2	0	0
行政	11	20	9	18	20	27	23
市民	0	0	0	0	0	1	0
市外在宅療養支援窓口	0	4	1	0	2	1	1
市外関係機関	3	1	2	2	2	6	10
その他	1	2	0	0	1	3	0
合計	81	78	60	70	91	131	92

連携先(件)

にしのわ連携先年度別推移



3 在宅療養後方支援病床確保事業

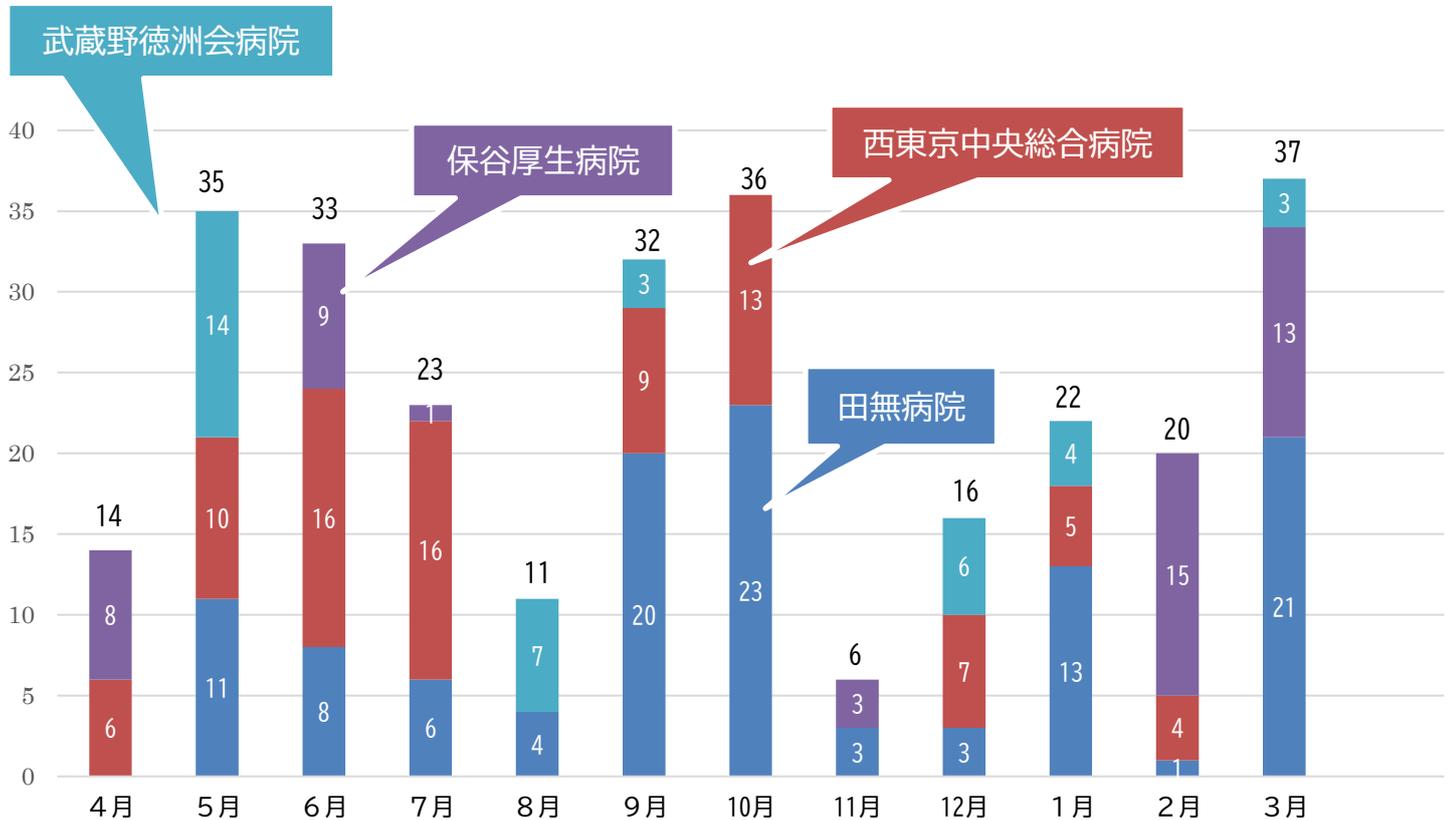
(1) 利用実績

利用延べ日数は合計285日である。(図表6)

なお、5月、10月、3月の利用が多くなっている。

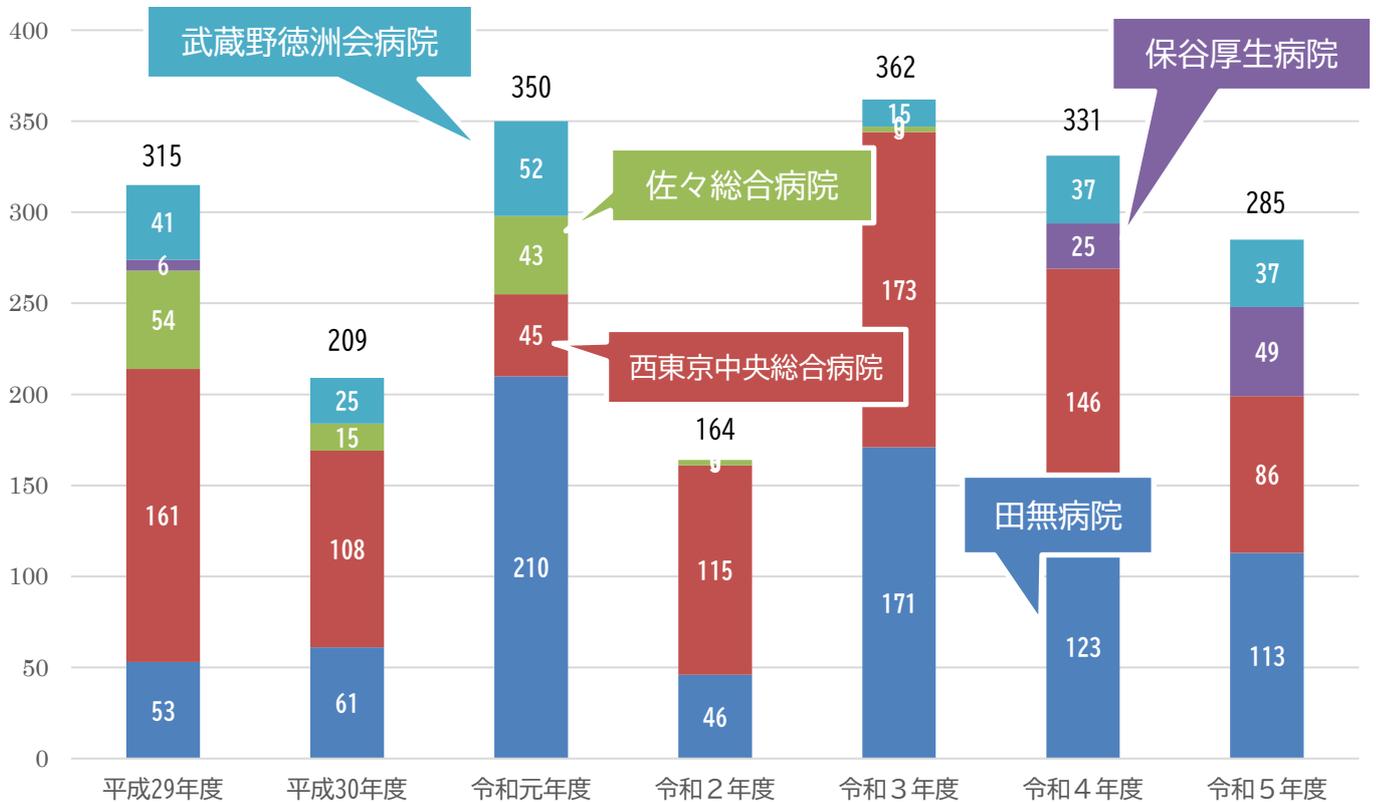
図表6 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

年	月	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
令和5年	4月	0	6	0	8	0	14
	5月	11	10	0	0	14	35
	6月	8	16	0	9	0	33
	7月	6	16	0	1	0	23
	8月	4	0	0	0	7	11
	9月	20	9	0	0	3	32
	10月	23	13	0	0	0	36
	11月	3	0	0	3	0	6
	12月	3	7	0	0	6	16
令和6年	1月	13	5	0	0	4	22
	2月	1	4	0	15	0	20
	3月	21	0	0	13	3	37
	計	113	86	0	49	37	285



図表7 在宅療養後方支援病床確保事業利用延べ日数の年度推移

年度	田無病院	西東京中央 総合病院	佐々総合 病院	保谷厚生 病院	武蔵野 徳洲会病院	合計
平成29年度	53	161	54	6	41	315
平成30年度	61	108	15	0	25	209
令和元年度	210	45	43	0	52	350
令和2年度	46	115	3	0	0	164
令和3年度	171	173	3	0	15	362
令和4年度	123	146	0	25	37	331
令和5年度	113	86	0	49	37	285



4 訪問診療連絡会講演会

ア 表題

訪問診療連絡会・にしのみ7周年特別企画
私たちが考える これからの在宅療養

イ 開催日

令和5年12月8日（金）午後7時から8時30分まで

ウ 場所

きらっと2階多目的ホール

エ 参加者数

92名（医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、看護師、訪問介護、地域包括支援センター、医療ソーシャルワーカー、事務）

オ 講演内容

訪問診療開始時の「こんなはずじゃなかった」問題を考える～移行期ケア～について

写真 訪問診療連絡会講演会（令和5年12月8日撮影）



5 市民向け講演会（市民との協働啓発部会）

ア 表題

「在宅療養と人生ノート」

イ 開催日

令和6年3月16日（土）

ウ 場所

保谷駅前公民館集会室

エ 参加者

市民49名

オ 講演内容

映画「ぴあ」の上映・人生会議啓発の動画上映・トークイベント

写真 市民向けイベント「在宅療養と人生ノート」（令和6年3月16日撮影）



6 多職種研修（連携のしくみづくり部会）

この研修は、西東京市の地域の医療・介護関係者が、お互いの業務の現状等を知り、在宅の高齢者を支援するチームケアを担い、忌憚のない意見が交換できる関係を構築するために、まず知り合い、つながることを目的とする。

対象者は、第1回から第3回までの対面での多職種研修に参加したことがない専門職。次のとおり研修を開催した。

ア 表題

第6回西東京市多職種研修 ～ALL NISHITOKYO 2023～

イ 開催日

令和6年3月13日（水）午後7時から8時まで（その後、懇親会）

ウ 場所

西東京市役所田無第二庁舎4階会議室

エ 受講者数

69名（医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、看護師、訪問介護、地域包括支援センター、リハビリ職、医療ソーシャルワーカー、社会福祉士、事務）

オ 研修内容

講義「MC Sの使い方と活用事例」 ひらつか内科クリニック 平塚龍太医師

グループワーク「多職種との情報共有で困っていること・上手くいったことや工夫していること」

写真 第6回西東京市多職種研修（令和6年1月31日撮影）

